

2010年9月21日

三菱UFJニコス株式会社
ネツエスアイ東洋株式会社

三菱UFJニコスと自動券売機大手のネツエスアイ東洋が提携 交通系電子マネー対応の“食券”販売機の導入スタート！

～「Suica」「PASMO」などの加盟店開拓を加速！“駅ソト”主に外食店舗での採用に期待！～

クレジットカード大手の三菱UFJニコス株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：佐々木 宗平、以下「三菱UFJニコス」）と、自動券売機製造・販売大手のネツエスアイ東洋株式会社（神奈川県横浜市、代表取締役執行役員社長：中沢 功次、以下「ネツエスアイ東洋」）はこの度、交通系電子マネーの加盟店開拓で合意、「Suica」「PASMO」など対応の自動券売機を共同で導入していきます。

なお、導入第一弾として、食堂業務受託企業の株式会社アイビー・シー・エス（東京都渋谷区、代表取締役社長：南風原 英允）運営の学生食堂に9月13日から順次、「Suica」対応自動券売機を設置していくことが決定したものです。

今般の提携は、コンビニ大手のローソンやサークルKサンクス等への交通系電子マネー導入実績を有する三菱UFJニコスの収益源拡大の意向と、ネツエスアイ東洋の自動券売機拡販の狙いが合致し、小額決済ニーズが見込める外食産業向けに、共同で交通系電子マネーの加盟化を推し進めていくものです。

具体的に今回の取り組みは、ネツエスアイ東洋が交通系電子マネー対応の食券販売機を販売する際、三菱UFJニコスが交通系電子マネーの加盟店契約の窓口となり、契約後の売上精算業務を受託するもの。これにより加盟店は、従来、交通系電子マネーの運営各社と直接行っていた事務作業を簡略化でき、スピーディな導入が可能となるものです。

現在、交通系電子マネーは、便利で身近な支払い手段として、着実に利用が拡大しており、市場規模も成長軌道に乗っています。自動券売機の主力市場である外食産業を中心に導入ニーズは一段と高まっていくものと考え、両社では駅周辺のファストフード店や学校・企業内の食堂などに今後3年間で200ユーザーへの導入を目指しています。

以上

※「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

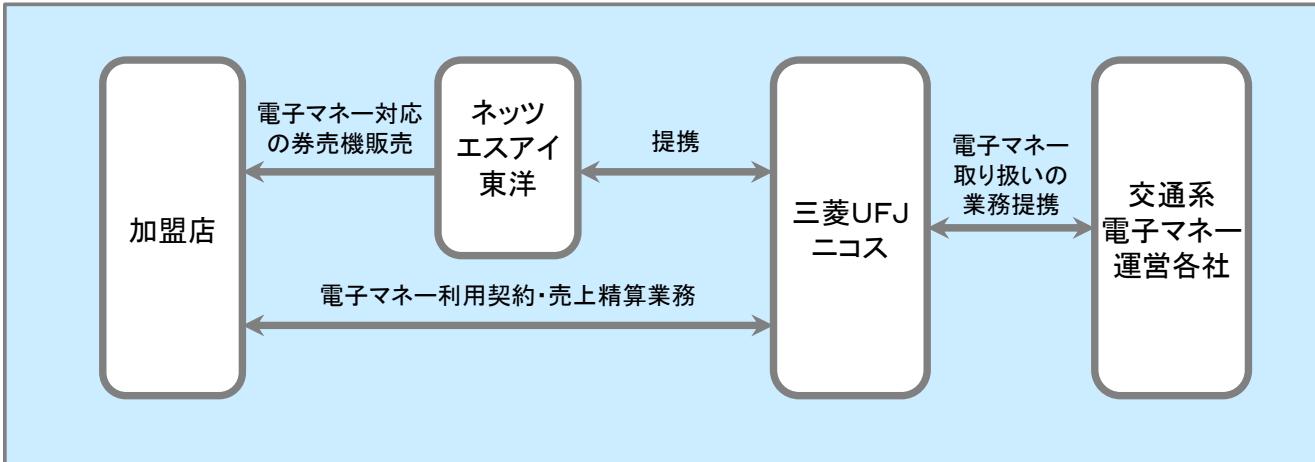
※「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。

○ 本サービスに関するお客様からのお問い合わせ先

ネツエスアイ東洋 営業本部 ベンディング営業部 TEL:045-226-5905 / FAX:045-226-5947

<参考資料>

○ 概略図



○ 電子マネー対応型の自動券売機について

汎用券売機が交通系電子マネーに対応することで、交通系電子マネー対応のカードや携帯電話をかざすだけの簡単・スピーディなお支払いができますので、来店客は紙幣や硬貨の投入といった手間が省け、スムーズにチケットを入手できます。運営側にとっても、釣銭準備や、小口現金管理といった業務の負荷軽減が期待される上に、さらなる客席回転率や利用頻度の向上が見込まれ、売り上げへの貢献も期待できます。

○ ネッツエスアイ東洋株式会社について

ネットワークシステムの企画・コンサルティング等を手がけるNECネットエスアイ株式会社のグループ会社。長年に亘り培ってきたマネーハンドリング技術、ネットワーク技術、ソフトウェア技術やセキュリティー技術を活かし、多様化するお客様のニーズに柔軟に対応し、最適なソリューションをご提供してまいりました。これからも、変化する市場環境、技術環境に対して、各事業部門が俊敏かつ的確に対応し、お客様に「快適な時間と空間」をご提供し、ユビキタス社会をサポートしてまいります。

本社:神奈川県横浜市中区日本大通 18 番地

代表:代表取締役執行役員社長 中沢功次

資本金:4 億円(平成 22 年 6 月 1 日現在)

ホームページ:<http://www.t-ns.co.jp/>